

中学3年生へのメッセージ

令和3(2021)年4月

栃木県立宇都宮中央女子高等学校 校長 稲葉昌弘

中学3年生の皆さん、進級おめでとうございます。また、このホームページを見ていただき、ありがとうございます。

本校は、昭和3(1928)年、宇都宮大学共同教育学部の前身である^{しはん}栃木県女子師範学校内に、栃木県立宇都宮第二高等女学校として創設された、90年を超える歴史と伝統のある高校です。

一方で、令和4(2022)年4月に高校に入学することになる皆さんの学年からは、「栃木県立宇都宮中央高等学校」と校名が変わり、進学に重点を置く単位制の共学校になります。

共学化により、今まで以上に様々な能力や可能性を持った生徒が本校に集い、日々の学習、部活動、生徒会活動、学校行事などを通じて^{せつさたくま}切磋琢磨しお互いを高め合える学校になると考えています。

また、単位制の導入により、生徒は、各自の興味・関心や進路希望に応じて、多くの選択科目の中から自由に科目を選ぶことができるようになります。そして、学校全体としてきめ細かな学習指導を行い、全国の難関大学をはじめ希望する大学に合格できる「トップ進学校」を目指していきます。

先日、「栃木県立宇都宮中央高等学校設置計画」が公表されました。現在、この計画に基づいて具体的な教育内容などを検討しているところです。決定したこと、公表できることは、できるだけ早くホームページに掲載し皆さんにお知らせします。

校舎や教室などに関しては、新しい体育館や弓道場、少人数での学習や大人数での発表会(プレゼンテーション)等ができる講義室や大講義室(冷暖房完備)、野球場・サッカー場・陸上トラックがとれる広いグラウンドなどを作ることになっています。ICT機器の整備も進み、男女ともに、思いきり学習や運動に打ち込める学校ができあがります。

「僕の前に道はない 僕の後ろに道は出来る」

これは、高村光太郎の詩『道程』の一節で、自らの進む道を自分の力で切り拓いていこうとする決意を示すものと言われています。皆さんも、これから歩む「人生」という一本の道を、自らの力で切り拓かなければなりません。「社会の発展に貢献する情操豊かな人間の育成」を教育目標とする宇都宮中央高等学校で、自己の将来を切り拓く力、次の時代を^{けんいん}牽引するリーダーとなるにふさわしい品格や深い教養などを身に付けてください。

宇都宮中央高等学校もまた、来春の新入生とともに新しい一步を踏み出すこととなります。先輩方が築いた校風を受け継ぎながら、今まで以上に素晴らしい学校にしていきたいと思います。

来春、皆さんとお会いできることを、心から願っています。